

われ人に勝つ道を知らず われに勝つ道を知る

柳生宗矩

裏面もご覧ください。



遷宮で結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

五月
生命の言葉

自分の心の中に巣食う敵、つまり邪念や怠惰心、臆病といった諸々のものを追い払つてこそ、他人に勝つ道も開ける。他人と勝負することを考えるより、まず、自分と闘つて勝たなければならない。

柳生宗矩（やぎゅうむねのり）

五七一～一六四六年。江戸時代初期の剣豪。徳川將軍家に仕え、將軍・秀忠や家光の剣術の師範となり大名にまで出世した。戦場における単なる武術を「剣禅一致」などの理念をもつて精神性のある武道へと高め、後の武士道に影響を与えた。隻眼の剣士・柳生十兵衛は宗矩の長男。

小溝の候ご参拝の皆さまの願い事はきっと神さまに届きます

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>